

【西宮市立中央病院 2022年症例 がん登録集計】

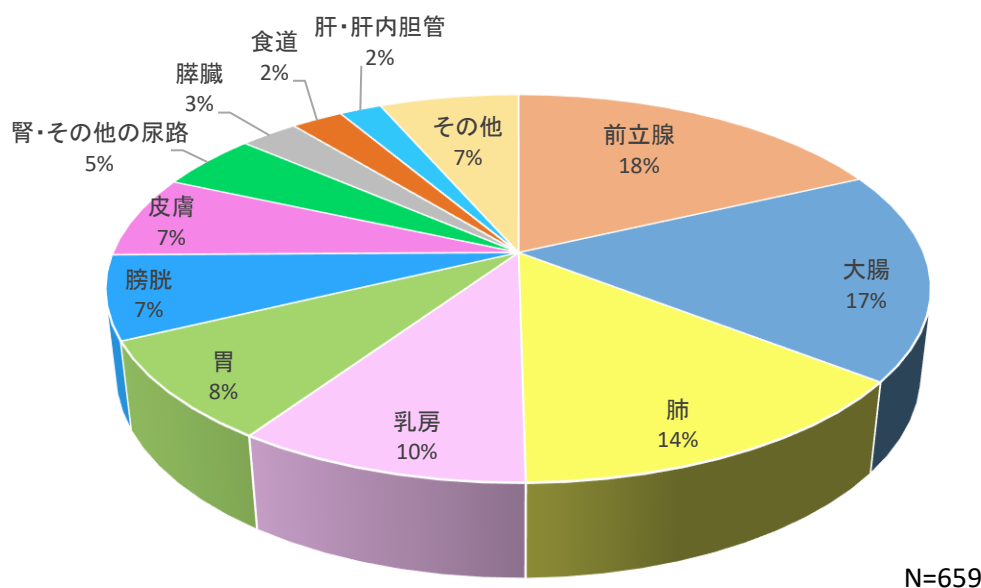
I 全体の集計と推移

1. 部位別登録数

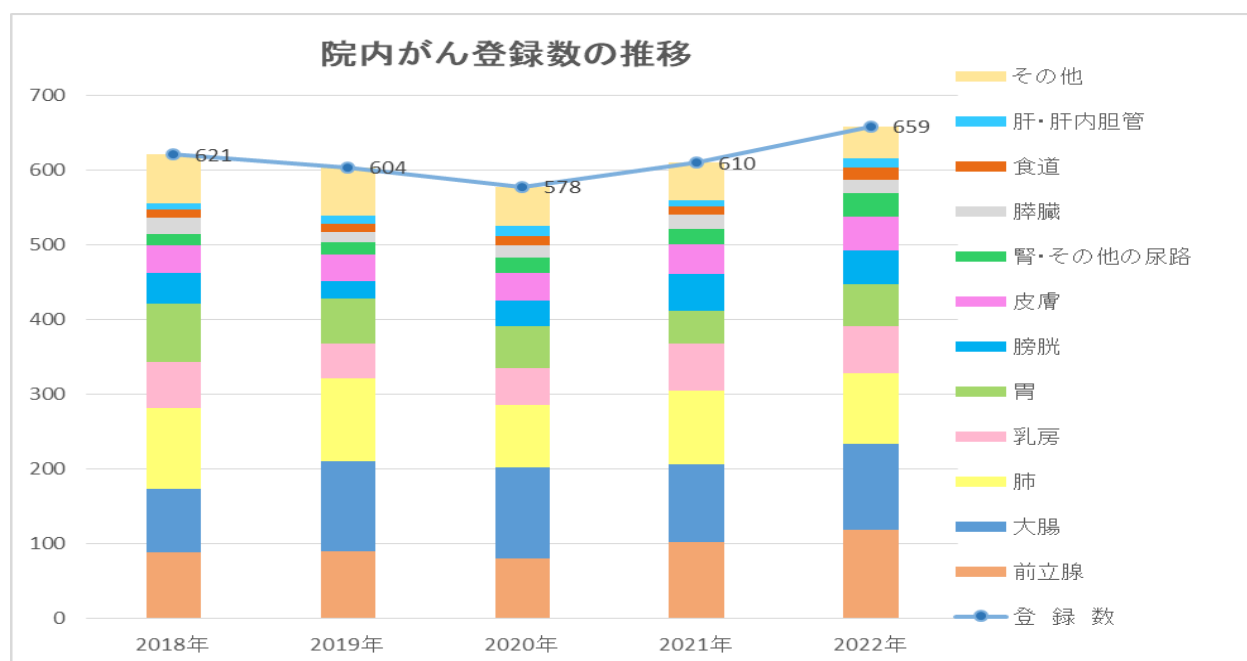
ICD-O-3.1 部位コード	部 位	2022年	2021年	前年比 2022年/2021年
C61	前立腺	119	103	116%
C18-C20	大腸	115	103	112%
C34	肺	94	99	95%
C50	乳房	64	63	102%
C16	胃	55	44	125%
C67	膀胱	46	49	94%
C44	皮膚	45	40	113%
C64-C68	腎・その他の尿路	31	21	148%
C25	膵臓	18	18	100%
C15	食道	16	12	133%
C22	肝・肝内胆管	13	(7~9)	163%
	その他	43	50	86%
合 計		659	610	108%

※「その他」は、口腔・口唇、甲状腺、胆のう・肝外胆管、悪性リンパ腫等、10件未満の部位を集約しています。

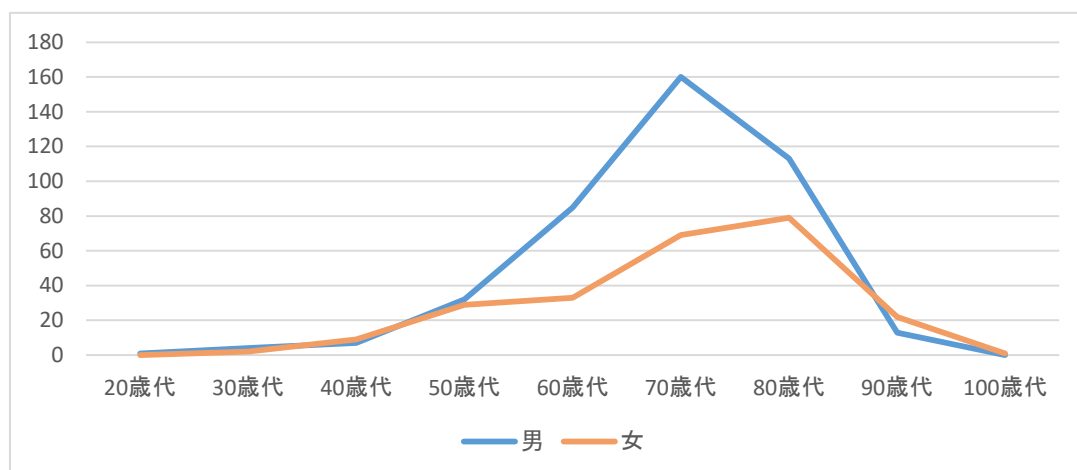
2. 部位別登録割合



3. 登録数の推移



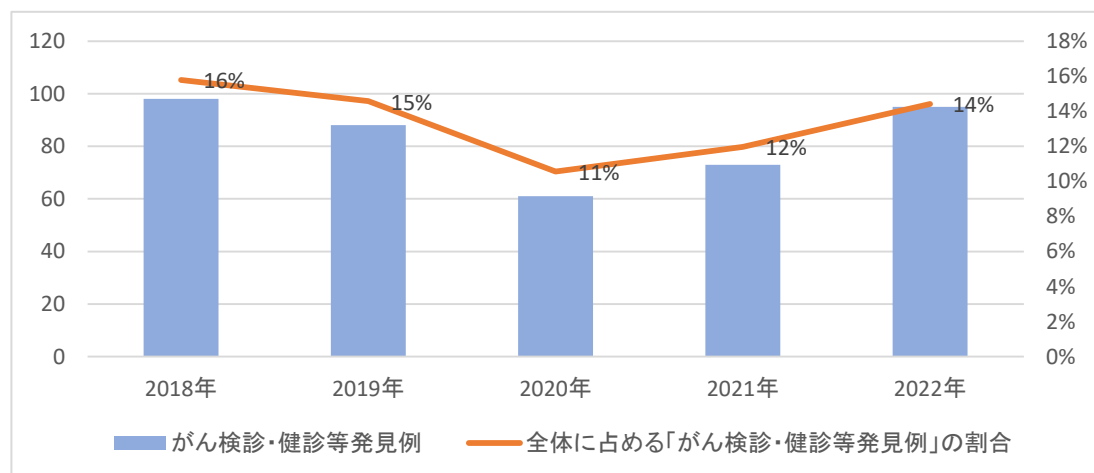
4. 年代別登録数



5. 「がん検診・健診等発見例」の推移

がん検診・健診等の結果をきっかけに受診し、がんと診断された症例（他院診断を含む）の推移を表示しています。

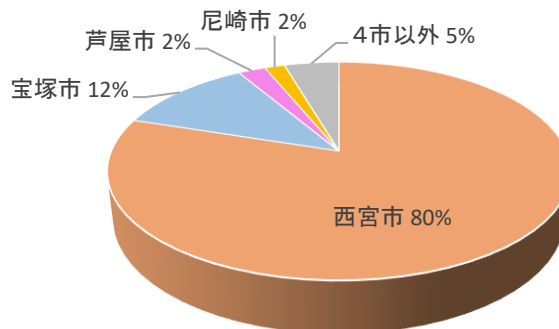
がん検診だけでなく、老人健康診査、健康診断や人間ドック等を含みます。



6. 診断時住所

がんと診断された時の、患者さんの住所地を集計しています。

	登録数	登録割合
西宮市	527	80%
宝塚市	76	12%
芦屋市	15	2%
尼崎市	11	2%
4市以外	30	5%
合計	659	100%



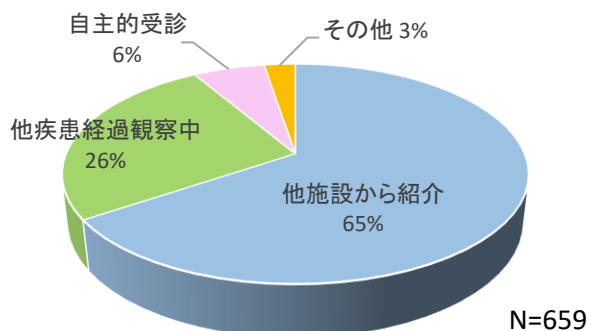
Ⅱ 部位別詳細

1. 来院経路

がんと診断された時の、当院を受診したきっかけの割合を表示しています。

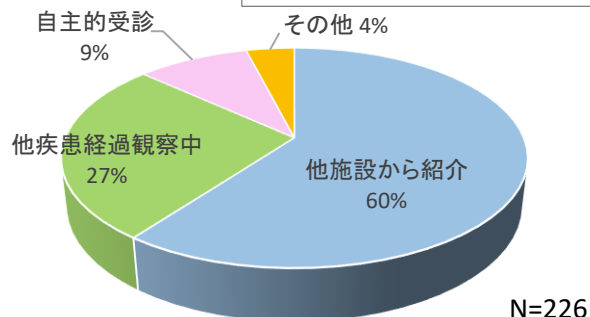
「他疾患経過観察中」は、当院で他疾患受診中や経過観察中にがんが見つかった症例です。

全体



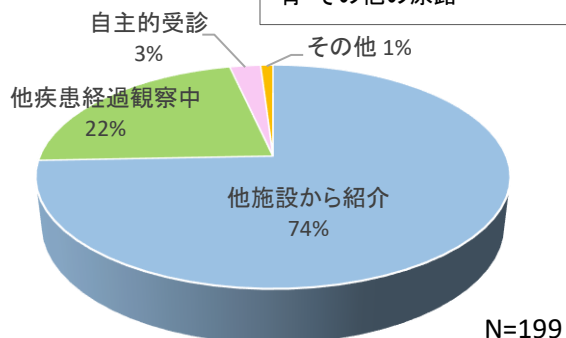
消化器

大腸・胃・食道・肝・肝内胆管・胆のう・肝外胆管・膵・小腸



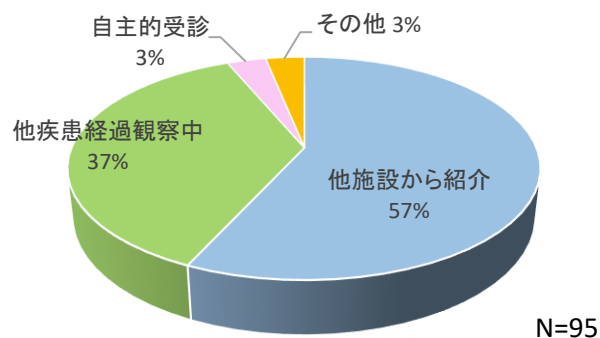
泌尿器

前立腺・膀胱・精巣・陰茎・腎・その他の尿路

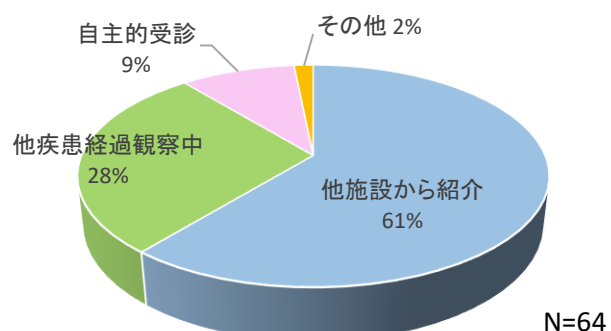


呼吸器

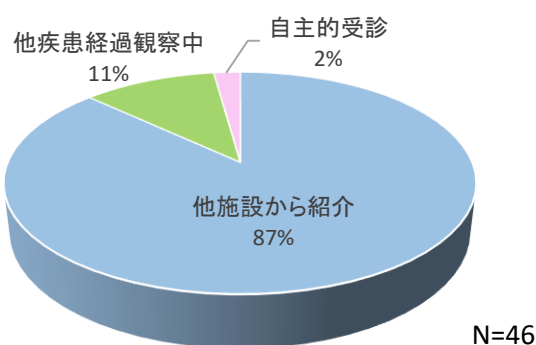
肺・胸膜・胸腺



乳房



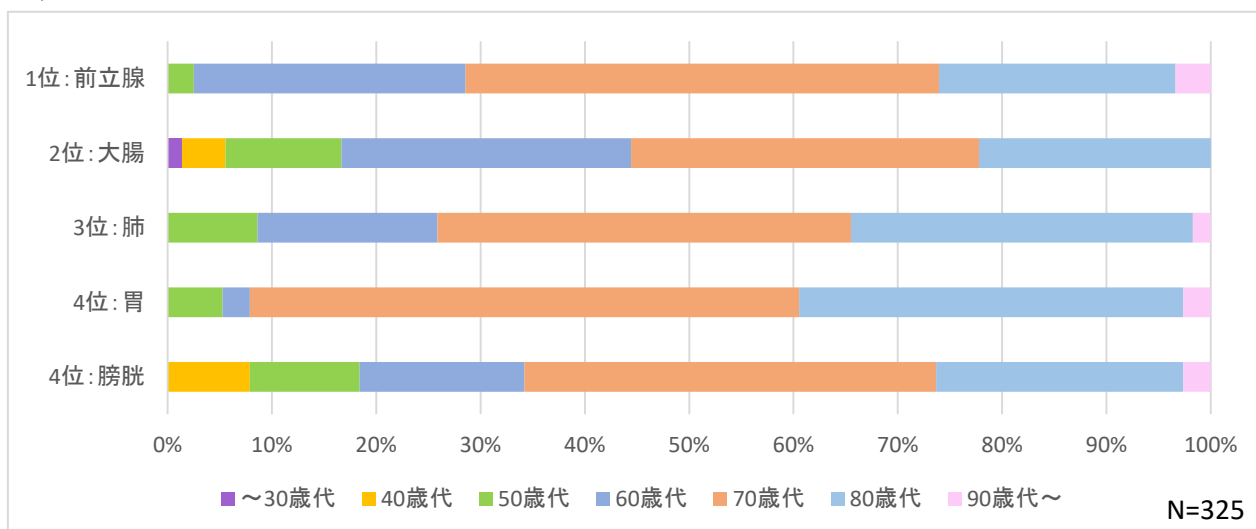
皮膚



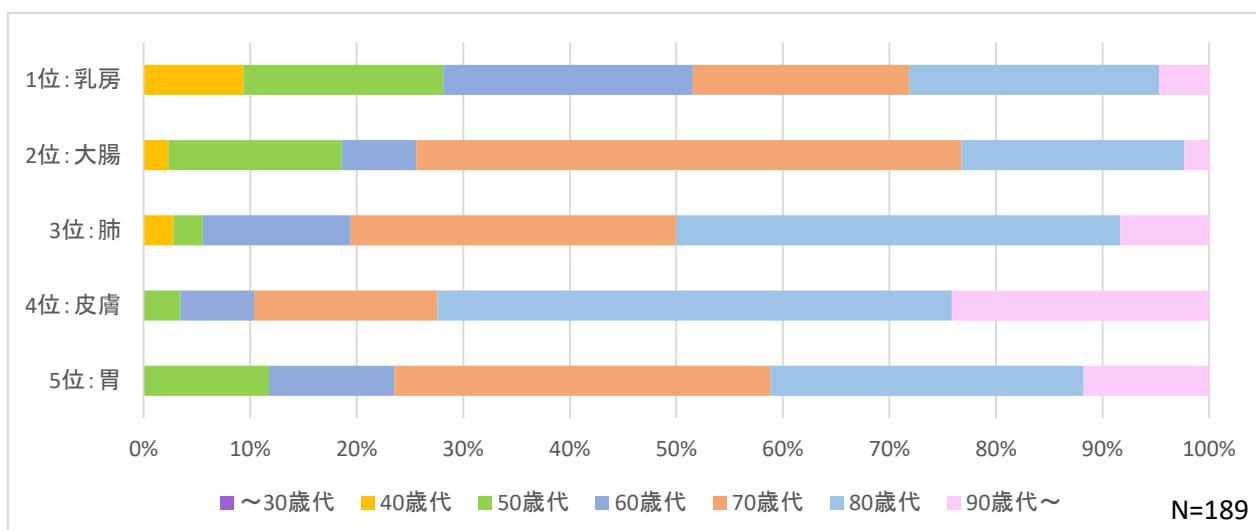
2. 年代別割合

当院で男女別登録数が多い5部位について、年代別の割合を表示しています。

○男性



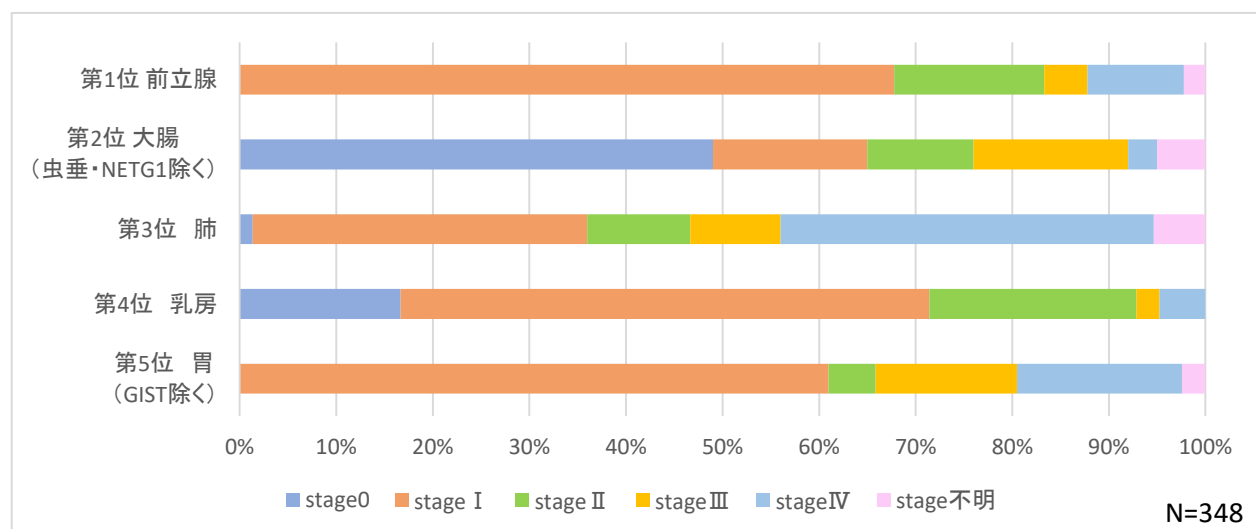
○女性



3. 「治療前ステージ」割合

※自施設初回治療開始症例（症例区分【20】【30】）を集計

当院で登録数が多い5部位について、治療開始前に診断されたステージの割合を表示しています。



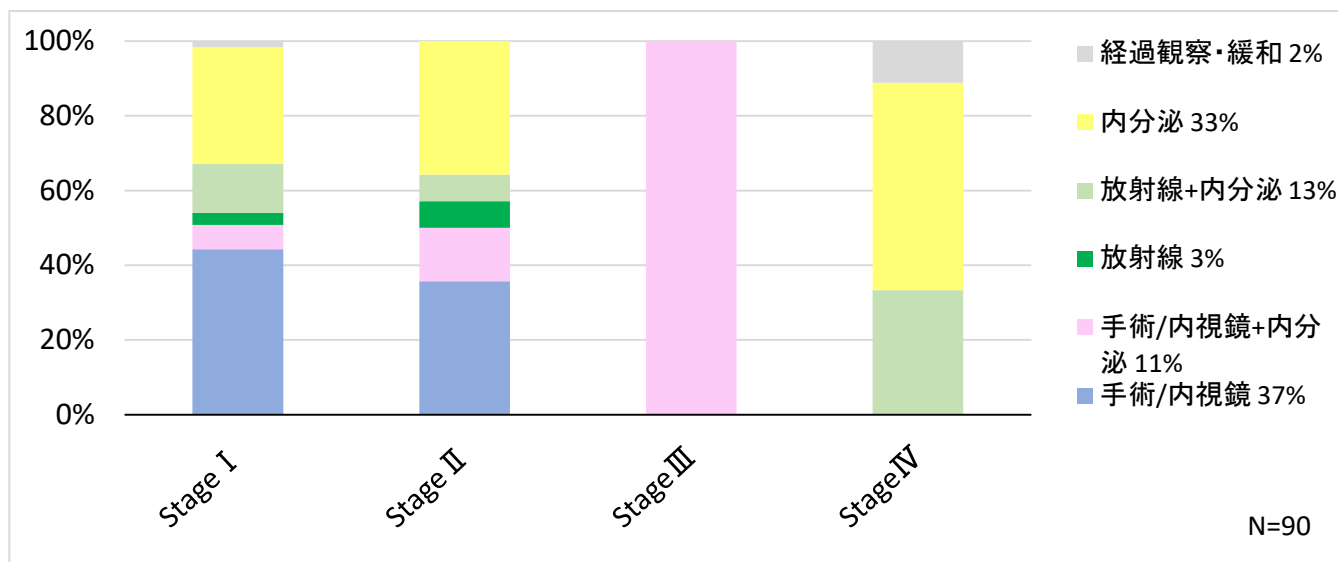
4.「治療前ステージ別」治療法の割合

※自施設初回治療開始症例（症例区分【20】【30】）を集計

当院で登録数が多い5部位について、治療開始前に診断されたステージごとに治療法の割合を表示しています。

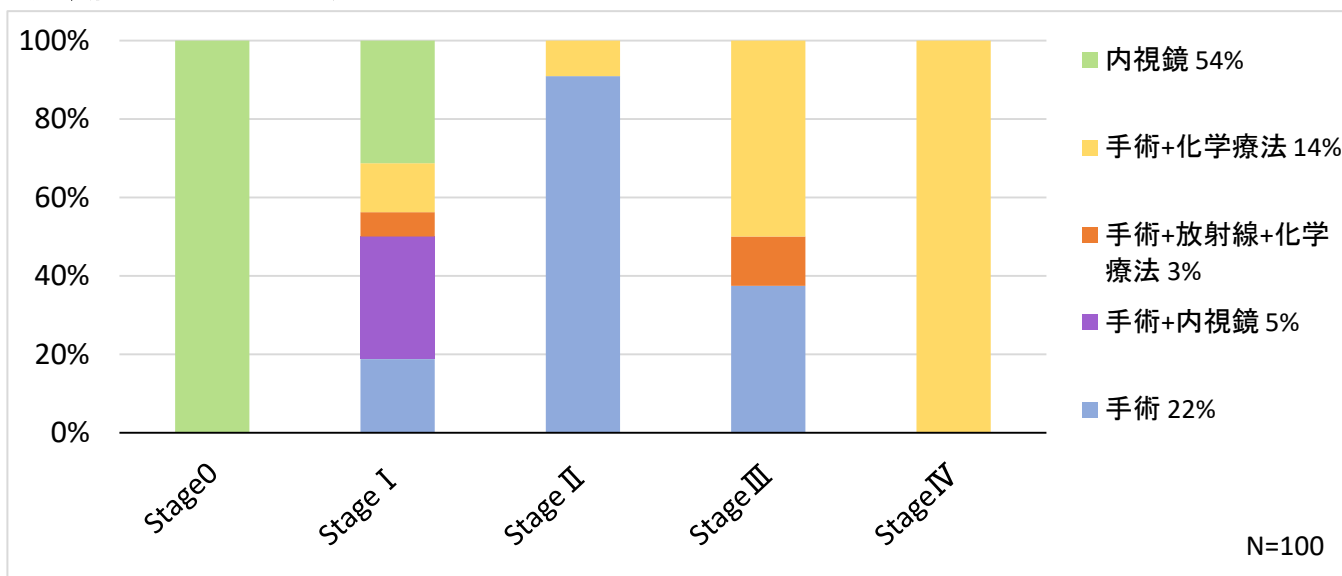
院内がん登録全国集計では、診断日より5ヶ月を超えた治療は含まれませんが、ここでは登録された治療をすべて含めています。

○前立腺がん



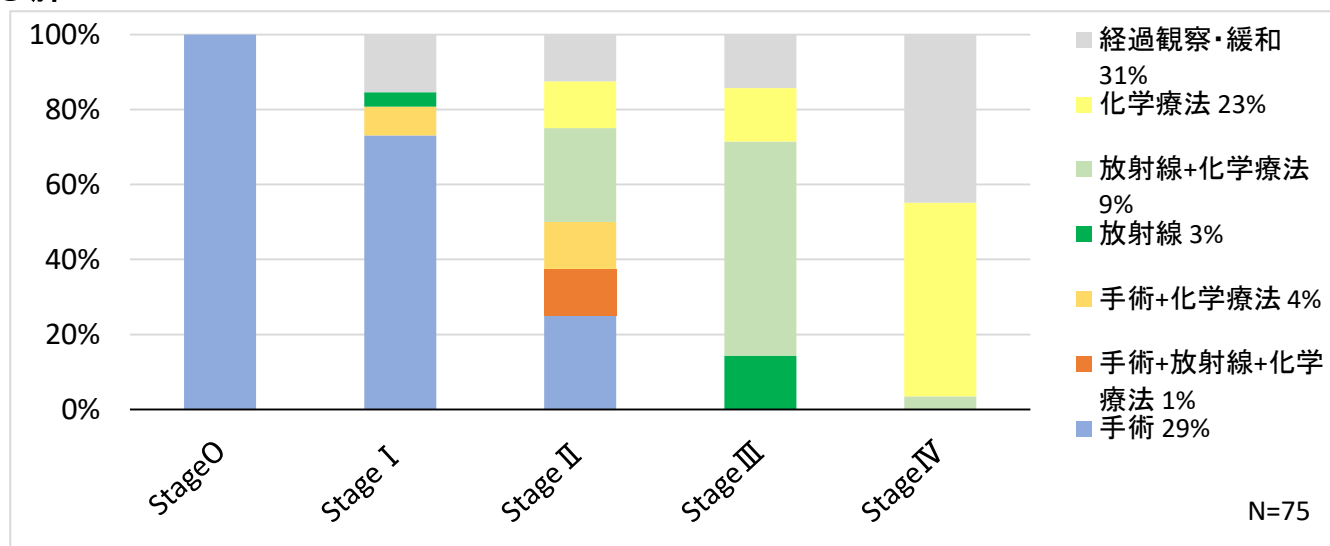
※手術内訳: ロボット治療98%、鏡視下治療2%

○大腸がん(虫垂がん、NET G1除く)



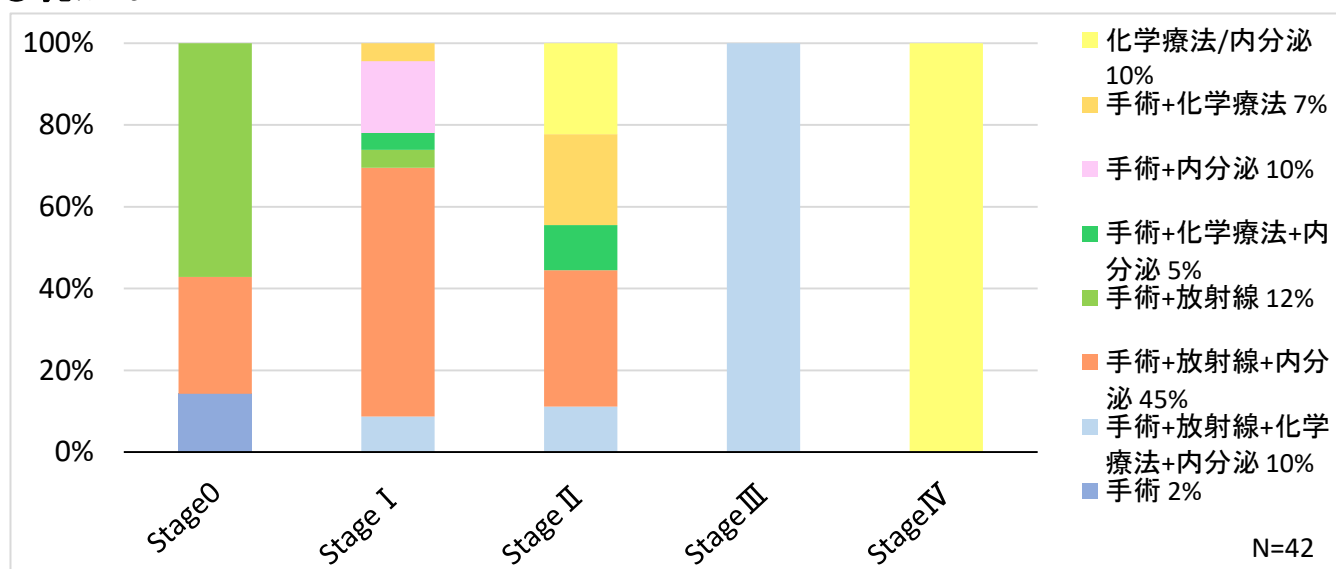
※手術内訳: ロボット治療9%、鏡視下治療77%、外科的治療14%

○肺がん



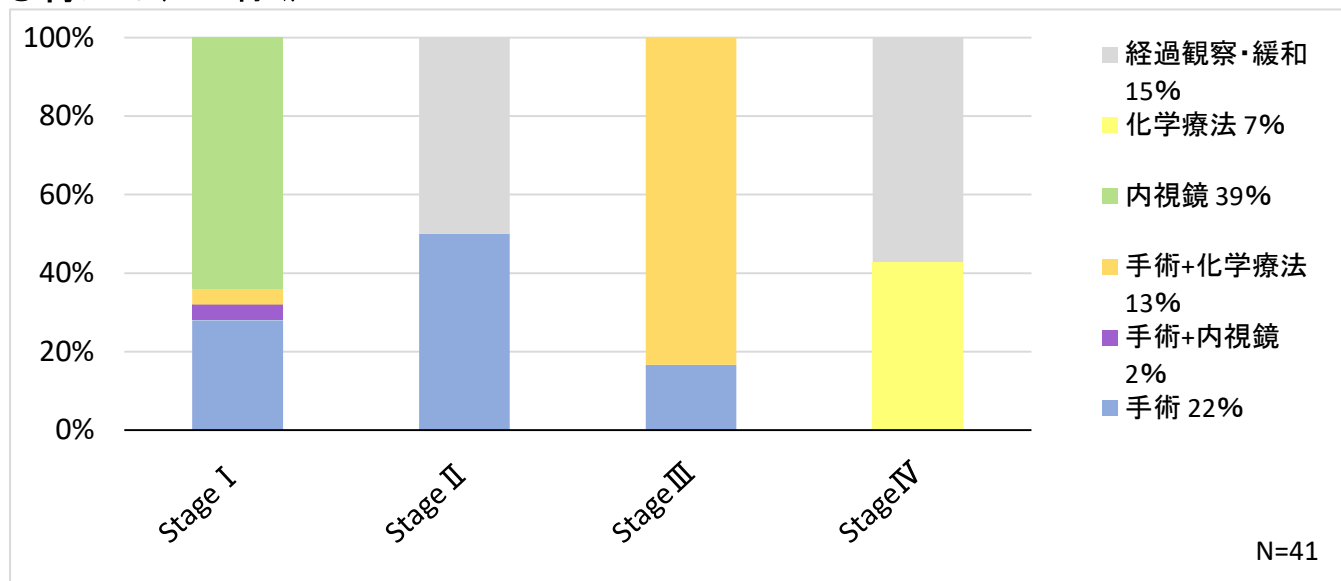
※手術内訳: 鏡視下治療65%、外科的治療35%

○乳がん



※手術内訳: 外科的治療100%

○胃がん (GIST除く)



※手術内訳: 鏡視下治療56%、外科的治療44%

Ⅲ 用語説明

- ①治療前ステージ UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期分類方法に基づき、何らかの治療が行われる前に診断されたステージを指します。
(臨床現場で使用されている癌取り扱い規約に基づくステージとは若干異なります。)
- ②症例区分 「院内がん登録標準登録様式」の項目。
診断及び初回治療の過程において、自施設がどのように関係したかを判断する区分。
【20】自施設診断・自施設初回治療開始
【30】他施設診断・自施設初回治療開始
- ③手術 肉眼的視野下で病巣切除を行う「外科的治療」と、自然開口部(口、鼻、肛門等)以外から挿入された腹腔鏡や胸腔鏡などの光学機器を用いて(光学機器の視野下で)行う「鏡視下治療」があります。
- ④内視鏡治療 自然開口部から挿入された光学機器を用いて(光学機器の視野下で)病巣を切除する治療法。胃・大腸の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、膀胱の経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)などがあります。
- ⑤放射線療法 原発巣や転移巣に放射線を集中的にあてることで腫瘍の縮小、消失を図る治療法。また、症状を緩和するために行われる照射治療も含まれます。
- ⑥化学療法 抗がん剤や分子標的薬を用いた治療法。内服と点滴投与がある。
ニボルマブなど免疫療法薬とされる分子標的薬も含まれます。
- ⑦内分泌療法 特定のホルモン分泌を抑制する薬剤を投与することで腫瘍の増殖を阻止する治療法。
前立腺癌における除睾術、ステロイド単剤での薬物療法も含まれます。